令和５年度年間学習計画（シラバス）

教科名　家　庭　　科目名　**フードデザイン**　３年選択Ｆ

科目の目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。 身に付けさせたい資質・能力：行動力、発信力		
履修年次	３年次	単位数	２単位
授業の方法	座学・グループ・実習		
教科書 副教材	『教科書フードデザイン』（実教出版）		
学習に必要な物品・費用等	教科書・ノート・ファイル・エプロン・三角巾 実習費　4,000円		
学習の目標	(1) 食品の分類とその特徴、食品の表示などに関する知識と技術を習得し、食生活の向上を図る能力と態度を身に付ける。 (2) 栄養に関する知識を習得し、健康の維持・増進を図る能力と態度を身に付ける。 (3) 料理の様式・献立・テーブルコーディネートなどに関する知識・技術を習得する。 (4) 食に関する知識、技術を習得し、自立の能力を養う。		
学習の内容と主な学習活動・言語活動	(1) 食生活と健康 (2) 食品の特徴・表示・安全 (3) テーブルコーディネート 料理に合ったテーブルコーディネートを学びます。 (4) 料理様式と献立 日本料理・西洋料理・中国料理・その他の国の料理の特徴を学びます。 (5) 調理実習 テーマにあった調理実習を行い、調理の技術の向上をはかります。		
学習の留意点	(1) 座学時は毎時　教科書・ノート・ファイルを用意 (2) 実習時は必ず、エプロン・三角巾持参 (3) 実習の翌時には必ず実習の記録を提出すること		
評価方法	【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】【技能】【知識・理解】４観点を総合して評価します。 (1) 定期考査 (2) 実習ごとの振り返りプリント (3) 提出物・ノート・ファイル（板書） (4) 授業への取り組み（出席状況・意欲・態度など）		

令和５年度　「フードデザイン」年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考査等
前期	4 5 6	1 15	・オリエンテーション ・食生活と健康 ・栄養素の働きと食事計画 中間考査	・学ぶにあたって ・からだをつくる栄養素としての食事を考える。 ・栄養摂取の変化と現状を知る。 ・各栄養素の働き ・食物の消化・吸収 ・調理実習	【関心・意欲・態度】 ・食生活について安全性・栄養・嗜好・心身の健康・文化の伝承など様々な視点から主体的に理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・各栄養素の働きをふまえ、その有効活用に向け適切な調理方法を判断し実践することができる。 ・食品の栄養的特徴をもとに分類し、栄養バランスの良い摂取の仕方を考えることができる。 【技能】 ・調理に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 【知識・理解】 ・調理に関わる基礎的な知識を正しく理解している。	レポート 定期考査
	7 8 9	14	・食品の特徴・表示・安全 期末考査	・代表的な食品の性質、利用法などを学ぶ。 ・調理実習		レポート 定期考査
後期	10 11	16	・料理様式とテーブルコーディネート 中間考査	・日本料理 ・西洋料理 ・中国料理 ・様式ごとの献立の特徴 ・調理実習	【関心・意欲・態度】 ・日本料理・西洋料理・中国料理など代表的な料理様式の献立や食材や作法の違いに関心を持ち、主体的に学ぼうとしている。 【思考・判断・表現】 ・様式に合わせた正しい食卓構成や作法を判断し、使い分けることができる。 【技能】 ・各国の様式に合わせた調理やマナーに関する基礎的な技術を身につけている。 【知識・理解】 ・場にふさわしい食事マナーに関する基礎的な知識を身に付けている。	プリント 定期考査
	12 1	14	・テーブルコーディネート 期末考査	・テーブルコーディネートの意義 ・テーブルコーディネートの要素 ・様式ごとのテーブルマナー ・調理実習	【関心・意欲・態度】 ・食事を心豊かに食べるための食卓の演出について、意欲的に学び、主体的に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 ・各国の様式の違いにより、盛りつけ方に工夫をしたり、料理や食器を選択することができる。 【技能】 ・各国に合わせた調理やコーディネートに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 【知識・理解】 ・場や様式に合わせたコーディネートに関する基礎的な知識について正しく理解している。	クリスマス料理 プリント 定期考査
計		60				

令和５年度年間学習計画（シラバス）

教科名　家　庭　　科目名　ライフデザインβ　　３年選択Ｌ

科目の目標	生活環境のデザインに関する知識と技術を習得させ、快適な生活をデザインする能力と態度を育てるとともに、デザイン関係の産業への理解を深め、これに携わる能力と実践的態度を育てる。 身に付けさせたい資質・能力：行動力、発信力		
履修年次	３年次	単位数	２単位
授業の方法	一斉授業・グループ・個別学習		
教科書 副教材	なし		
学習に必要な物品・費用等	実習費　2,500円 ※色彩検定を受検する場合は、7,000円（３級）が別途必要になります。		
学習の目標	(1) デザインと色彩配色、デザインと産業、ディスプレイ、インテリアデザインについて関心を持ち、実践的な態度を身に付ける。 (2) デザインを主体的に解決するために実習等を通じて思考を深め、適切に判断する能力を身に付ける。 (3) デザインに関する基礎的・基本的な知識・技術を総合的に身に付ける (4) 家庭クラブ活動を通して、問題解決能力を養う。		
学習の内容と主な学習活動・言語活動	(1) 色彩学 色彩の基本応用を学習し、日常生活で応用できる力を身に付けます (2) イメージと表現 自分の思いや考えを、様々な方法で表現できる力を身に付けます (3) ディスプレイ 季節、対象、大きさに合わせ、人に伝わるディスプレイ方法を考え、実生活に応用できる力を身に付けます (4) インテリアデザイン よりよい空間作りのために基礎的な知識を身に付けます (5) 家庭クラブ活動 総合学科の家庭クラブについての活動方針を考え、学習した内容を日常生活に生かしながら問題解決を図る姿勢を養います		
学習の留意点	(1) 学習に対して意欲的に取り組み、各作品の製作に関わる技術を身に付けること。 (2) 自分で考え、積極的に自分のイメージを表現すること。 (3) 周囲の人と協力して学習すること。 (4) 習得したことを実生活で実践する応用力を身につけること。 (5) 学習したことをもとに、自らの生活課題について考え、工夫できるよう努力すること。 (6) 実験・実習では指示をしっかりと聞いて、安全に留意し取り組むこと。		
評価方法	【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】【技能】【知識・理解】４観点を総合して評価します。 (1) 授業への取り組み（出席状況、態度、意欲など） (2) 作品製作 (3) 定期考査 (4) プリント・ノートファイル提出		

令和５年度　「ライフデザインβ」年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考査等
前期	4	1	オリエンテーション	学ぶにあたって	【関心・意欲・態度】 ・１年の学習の流れを理解するとともに、実践に生かそうとする態度を身に付けている。 ・色彩学に関心を持っている。 ・ディスプレイの基本について関心を持っている。	
	5	10	色彩学	色彩学の基礎と応用		プリント
	6	11	インテリアデザイン	ディスプレイ製作 テディベア作成	【思考・判断・表現】 ・ディスプレイの効果について考え、表現することができる。 【技能】 ・色彩、背景などを総合的に考え、作品を制作する技術を身に付けている。	中間考査 作品製作 作品製作
	7 8 9	8		パッチワーク作成	【知識・理解】 ・色彩学の基礎を理解している。 ・色彩学の応用を理解している。	作品製作等
後期	10	10	ディスプレイ	応用 秋のオブジェ作成	【関心・意欲・態度】 ・場の雰囲気に合う心地よい空間をつくることに関心を持ち、生活をよりよくしようと主体的に取り組んでいる。 ・身近な生活について関心をもち、充実向上を目指して主体的に取り組むとともに実践に生かそうとする態度を身に付けている。	作品製作等
	11 12	7 8	インテリアデザイン イメージと表現	インテリアの基本 ちぎり絵カレンダー製作	【思考・判断・表現】 ・季節や場の雰囲気に合わせた心地よい空間を演出するために、学習した知識を生かしたディスプレイを考え、表現している。 ・個々の技術を集結して、一つの作品に仕上げるため意欲的に話し合いを行う。 ・身近なところから問題を見つけ解決する方策を考える能力を身に付けている。	作品製作等 プリント
				オブジェ作り 正月つるし飾り	【技能】 ・季節に合わせたディスプレイを作る技術を身に付けている。 ・ペーパークラフトによる作品を作る技術を身に付けている。 ・色彩学を応用し、インテリアについて提案することができる。	作品製作
	1	4	家庭クラブ活動	ホームプロジェクト	【知識・理解】 ・ディスプレイの効果について理解している。 ・インテリアに関する基本的な知識を身に付けている。 ・１年の学習内容を復習し、理解することができる。	
		1	まとめ			
計		60				

令和５年度年間学習計画（シラバス）

教科名　家　庭　　科目名　**課題研究**　　３年課題研究選択

科目の目標	生活産業に関する課題を設定し、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活の質の向上や、生活産業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。 身に付けさせたい資質・能力：思考力、行動力、創造力、発信力		
履修年次	３年次	単位数	２単位
授業の方法	一斉授業・グループ・個別学習		
教科書 副教材	なし		
学習に必要な物品・費用等	実習費500円		
学習の目標	(1) 身近な課題を設定し、その解決を図るための調べ学習を行う。 (2) 実習や実験、作品製作を通して、研究を深める。 (3) 研究成果をまとめ、工夫して発表する。 (4) 家庭クラブ活動を通して、問題解決能力を養う。		
学習の内容と主な学習活動・言語活動	(1) プロジェクト活動 (2) 家庭クラブ活動・ホームプロジェクト		
学習の留意点	(1) 日常生活に関心を持って課題を探すこと。 (2) 自らの生活課題へ向けて、何をすべきか積極的に考え、取り組むこと。 (3) 自分の活動をまとめ、わかりやすく発表する技術を身に付けること。 (4) 実験・実習では指示をしっかりと聞き、安全に留意し取り組むこと。		
評価方法	【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】【技能】【知識・理解】４観点を総合して評価します。 (1) 授業への取り組み（出席状況、態度、意欲など） (2) プリント・ノートファイル提出 (3) パワーポイントによるプレゼンテーションの作成および発表		

令和５年度　「課題研究」年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考査等
前期	4 5	1 13	オリエンテーション プロジェクト活動 （指定）	学ぶにあたって 課題の設定 調べ学習 プレゼンテーションの作成 系列内発表会	【関心・意欲・態度】 ・１年の学習の流れを理解している。 ・身近な生活の課題について関心を持ち、解決しようとする態度を身に付けている。	計画表 レポート 作品等 発表活動
	6 7 8 9	16	プロジェクト活動 （自由）	課題の設定 調べ学習	【思考・判断・表現】 ・身近な生活の課題を見いだし、その解決を目指して考えを深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	
後期	10 11	2 23		実験 実習 アンケート調査 プレゼンテーションの作成 最終まとめ 系列内プレ発表会 修正 系列内発表会	【技能】 ・計画を基に調べ学習、実験・実習に取り組む技術を身に付けている。 ・修正した計画を基に、調べ学習、実験、実習に取り組む技術を身に付けている。 ・まとめを行い発表する技術を身に付けている。 【知識・理解】 ・課題を理解し、解決に必要な知識や技術を身に付けている。	発表活動 計画表 レポート 作品等 発表活動 プリント
	12 1	4 1	家庭クラブ活動 まとめ	ホームプロジェクト 課題研究発表会		
計		60				

令和５年度　北海道美唄尚栄高等学校シラバス

教科	家庭	科目(選択群)	家庭基礎（１年共通）	単位数	２単位
科目の目標	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ，家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				
特に身に付けたい力（尚栄ＧＰ）	思考力・自己肯定力・人間関係形成能力・行動力・創造力				
教科書・副教材	大修館書店　［家基 709］ 「Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう」				
学習上の留意点	（１）自分の意見を持ち、授業規律を守って取り組むこと。 （２）人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活，衣食住などに対する意欲・関心を持ち、授業に主体的に参加すること。 （３）学習の目的を理解し製作した提出物を期限を守り提出すること。				

評価の観点、観点別学習状況の評価基準

評価の観点 ＼ 評価基準	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活，衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などについて課題を見いだし，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，表現を工夫するなど，生活を創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などについて関心をもち，その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに，実践的な態度を身につけている。
Ａ 十分満足できる	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活，衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能がしっかり身についている。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などについて課題を見いだし，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，表現を工夫するなど，生活を創造する能力がしっかり身についている。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などについて関心をもち，その充実向上を目指して主体的に取り組むなど，実践的な態度がしっかり身についている。
Ｂ おおむね満足できる	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活，衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能が概ね身についている。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などについて課題を見いだし，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，表現を工夫するなど，生活を創造する能力が概ね身についている。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などについて関心をもち，その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに，実践的な態度が概ね身についている。
Ｃ 努力を要する	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活，衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技能が十分に身についていない。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などについて課題を見いだせず，生活を創造する能力が十分に身についていない。	人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活などについて関心が持てず，その充実向上を目指して主体的に取り組むことができず，実践的な態度が十分に身についていない。
評価方法	単元テスト、学習課題、授業での発言内容、実技提出物など	単元テスト、レポート、ワークシート、実験・実習の記録	授業・実験・実習への参加態度や感想

令和５年度　「家庭基礎」年間学習計画

学期	時間	単元・学習内容	評価の観点（評価規準）	ＩＣＴ活用の場面
前期	1 4 7 3 5 10 5	家庭科を学ぶということ･家庭科の学び方 第１章　生活のマネジメント 第10章　衣生活のマネジメント 第２章　青年期の課題と自立 第３章　家族･家庭生活のマネジメント 第４章　子どもの生活と子育てのマネジメント 第５章　高齢期の生活のマネジメント	A知識・技能 ●現代の家族の特徴、自立、親の果たす責任と役割、高齢社会の現状と課題等について理解している。 ●健康・安全などについて配慮した被服の選択が適切にできる。 b思考・判断・表現 ●高校生活の課題，自己の生きかた，将来の家庭生活と職業生活のありかた、男女が共に家庭生活の責任を果たし人間らしい生活をするための課題等ににについて考えを深めながら，生活設計を立案したり，発表したりしている。 C主体的に学習に取り組む態度 ●生涯にわたり，自立した生活を主体的につくるために必要な力について考えようとしている。 ●家族の問題を社会の問題としてとらえ，その解決方法を考えようとしている。 ●男女共同参画社会の実現，子育てしやすい社会を実現、世代間交流を実践することの大切さについて考えようとしている。	学習の記録 小テストの実施・提出 実験・実習、課題等の記録記入 動画・写真など参考資料の視聴・感想記入提出 調べ学習の情報収集
後期	18 3 3 6 6	第９章　食生活のマネジメント 第６章　共生社会をつくる 第７章　持続可能な社会をつくる 第８章　経済生活のマネジメント 第 11 章　住生活のマネジメント	A 知識・技能 ●自分の食生活を点検し問題点を理解し見直すことができる。 ●共生社会の実現には日ごろからのコミュニケーションが重要であることを理解し、地域の人々，地域社会を支える人々と交流できる。 b 思考・判断・表現 ●栄養素の種類と機能をふまえ，食品を組み合わせて摂る具体的な献立をまとめたり，発表したりしている。 ●共生社会の実現にむけて，自分の生活する地域ではどのようなことができるか，考えを深めたり，発表したりしている。 C 主体的に学習に取り組む態度 ●家族や自分の食生活について，栄養や健康と関連させて考えようとしている。 ●食生活の多様化や食環境の変化に興味をもち，調理実習・実験に取り組んでいる。 ●日常生活にある自助・互助・共助・公助のあり方について考えようとしている。	学習の記録 小テストの実施・提出 実験・実習、課題等の記録記入 動画・写真など参考資料の視聴・感想記入提出 調べ学習の情報収集 カロリー計算 家計簿・ローン計算
計	70			

令和５年度　北海道美唄尚栄高等学校シラバス

教科	家庭	科目(選択群)	ライフデザインα（２年選択Ａ・Ｂ）	単位数	４単位
科　目　の　目　標	生活環境のデザインに関する知識と技術を習得させ、快適な生活をデザインする能力と態度を育てるとともに、デザイン関係の産業への理解を深め、これに携わる能力と実践的態度を育てる。				
特に身に付けたい力（尚栄ＧＰ）	行動力・発信力・創造力				
教科書・副教材	なし ファイル、裁縫道具 実習費 8,000 円（被服材料代 4,500 円他、作品制作に関する材料代） ※色彩検定を受検する場合は、7,000 円（３級）が別途必要になります。				
学習上の留意点	(1) 学習に対して意欲的に取り組み、各作品の製作に関わる技術を身につけること。 (2) 自分で考え、積極的に自分のイメージを表現すること。 (3) 周囲の人と協力して学習すること。 (4) 習得したことを実生活で実践する応用力を身につけよう (5) 学習したことをもとに、自らの生活課題について考え、工夫できるよう努力すること。 (6) 実験・実習では指示をしっかりと聞いて、安全に留意し取り組むこと。				

評価の観点、観点別学習状況の評価基準

評価の観点 ＼ 評価基準	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動になどに関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動について課題を見いだし，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，表現を工夫するなど，生活を創造する能力を身につけている。	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動に対して関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。
Ａ 十分満足できる	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動などに関する基礎的・基本的な知識と技能がしっかり身についている。	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動について課題を見いだし，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，表現を工夫するなど，生活を創造する能力がしっかり身についている。	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動に対して関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身についている。
Ｂ おおむね満足できる	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動などに関する基礎的・基本的な知識と技能が概ね身についている。	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動について課題を見いだし，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，表現を工夫するなど，生活を創造する能力概ね身についている。	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動に対して関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度が概ね身についている。
Ｃ 努力を要する	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動などに関する基礎的・基本的な知識と技能が十分に身についていない。	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動について課題を見いだせず、生活を創造する能力が十分に身についていない。	色彩学やファッションデザイン、ディスプレイ、フラワーデザイン、家庭クラブ活動に対して関心が持てず、その充実向上を目指して主体的に取り組むことができず、実践的な態度が十分に身についていない。
評価方法	単元テスト、学習課題、授業での発言内容、実技提出物など	単元テスト、レポート、ワークシート、実験・実習の記録	授業・実験・実習への参加態度や感想

令和５年度　「ライフデザインα」年間学習計画

学期	時間	単元・学習内容	評価の観点（評価規準）	ＩＣＴ活用の場面
前期	1 16 18 1 16 21 1	オリエンテーション 学ぶにあたって 色彩学 色のしくみ ファッションデザイン 基礎縫い てぬぐいパンツ作成 甚平型紙作成 中間考査 色彩学 色の活用 配色のルール マンダラ作成 ハーバリウム制作 クラフトかご作り ファッションデザイン 甚平の作成 期末考査	A知識・技能 ●色の種類･性質や錯覚、色彩がもたらす視覚効果や作用について正しく理解し、その特性を活かした作品を作ることができる。 ●立体の作品を作るために必要な型紙の形を正しく理解する。 ●和裁の基礎技術（手縫い・ミシン）を習得し、正しく丁寧に縫うことができる。 b思考・判断・表現 ●色の種類・性質や色の不思議について私たちの生活とのかかわりを考え、判断し、主体的に表現しようとしている。 C主体的に学習に取り組む態度 ●１年の学習の流れを理解し、意欲的に取り組もうとしている。 ●身の回りにある色の種類や性質、人に与える影響について関心を持ち、実践に生かそうと考えようとしている。	学習の記録 小テストの実施・提出 実験・実習、課題等の記録記入 動画・写真など参考資料の視聴・感想記入提出 調べ学習の情報収集
後期	8 5 18 1 10 6 16 1 1	インテリアデザイン 家族との空間 個人の空間 ディスプレイ 切り絵（インテリア装飾）作成 ペーパークラフト作成 ファッションデザイン 甚平用クラフト巾着作成 中間考査 ディスプレイ ポスター作製 （パワーポイントの基本） フラワーデザイン フラワーアレンジメントの基本 ファッションデザイン デザイン画の基礎 家庭クラブ活動 まとめ ホームプロジェクト パワーポイント発表 期末考査	A 知識・技能 ●心地よい空間を演出するための基礎的な知識や技能を身に付けている。 ●描画技術に関する基本的な知識や技能を身に付けている。 ●よりよい生活を送るために必要な学習内容を理解している。 b 思考・判断・表現 ●季節や場の雰囲気に合わせた心地よい空間を演出するために、学習した知識を生かしたディスプレイを考え、表現している。 ●描きたいデザインのための色や素材、ポーズやアイテム画を考え、自分のイメージを丁寧に表現している。 ●パワーポイントの技術を活用し、工夫しながら伝えたい内容を発表したりしている。 C 主体的に学習に取り組む態度 ●場の雰囲気に合う心地よい空間をつくることに関心を持ち、生活をよりよくしようと主体的に取り組んでいる。 ●各製作物にどのような作品ができるかイメージをしながら主体的に取り組んでいる。	学習の記録 小テストの実施・提出 実験・実習、課題等の記録記入 動画・写真など参考資料の視聴・感想記入提出 調べ学習の情報収集 課題発表
計	140			